

チェコの政治情勢

主要要人

ゼマン大統領



シュチェフ上院議長

ヴオンドラーチェク
下院議長

バビシュ首相



最近の政治状況

- 2017年10月26日、27日、任期満了により下院選挙が実施された。
- 下院選挙の結果、連立与党(社会民主党、ANO及びキリスト教民主同盟・人民党)の一員であったANOが既存政党の政治を批判し、効率的な国家運営を訴えて78議席を獲得し、第一党となった。他方、CSSD、KSCM、KDU-CSLといった既存政党が議席を減らした。
- 同年12月13日、ゼマン大統領による任命を受け、バビシュ内閣は少数政権で発足したが、下院で信任が得られず2018年1月24日に辞職。
- バビシュ内閣は暫定内閣として職務を継続する中、バビシュ首相は下院の信任を得られる内閣成立に向け各党と再交渉中。
- 2018年1月の大統領選挙では、ゼマン大統領が再選(任期2018年～2023年)。

対外関係

- EU、NATO及び国連加盟国として、国際社会における様々な取り組みに積極的に関与していくことで、自国の安全保障、繁栄、民主主義を維持していく方針。
- EUに対しては、内部改革に取り組むとともに関連機関に対して人材を派遣するなど、関係を強化していく方針。また、EU加盟国のうち、特に、ドイツ、オーストリア、V4諸国(ポーランド、スロバキア、ハンガリー)との関係を維持・発展させていく。
- EU諸国以外では、特に、米国、日本、韓国との関係を一層発展させていく一方、中国に対しては、国際的な貿易上のルールに従った相互に利益ある関係を構築していく方針。また、ロシアとの関係では、EUの一員として今後の関係を議論・構築していくとの立場。
- NATOによる平和維持活動が展開されているアフガニスタン、イラク、コソボ、マリ等にチェコ軍部隊・要員を派遣しているところ、これら派遣を継続する方針。また、国防予算については、2024年～25年にGDP比2%(2017年/1.08%)となるよう増額していくことを目標に掲げている。
- ユーロ導入には消極的。
- EUによる加盟国への難民割当てには強く反対している。

政党名	下院	上院
ANO【与党】	78	6
市民民主党(ODS)【野党】	25	10
チェコ海賊党【野党】	22	
自由と直接民主主義(SPD)【野党】	22	
チェコ・モラビア共産党(KSCM)【野党】	15	
社会民主党(CSSD)【野党】	15	25
キリスト教民主同盟・人民党(KDU-CSL)【野党】	10	16
TOP09【野党】	7	
無所属及び首長連合【野党】	6	12
その他(無所属等)		12
合計	200	81